

たかおか

市議会 だより

No.37 12月定例会号
平成27年(2015年)2月1日発行

12月定例会のあらまし	2P
議会の新しい構成	5P
個別質問	6P
総括質問	10P
委員会の動き	12P

編集■広報広聴委員会
発行■富山県高岡市議会
〒933-8601 高岡市広小路7-50
TEL 0766-20-1531
FAX 0766-20-1534
E-mail : gikai@city.takaoka.lg.jp



さあ、2015.3.14 北陸新幹線開業
新高岡駅から。



写真提供：伏木写友会

一面の雪化粧 冬の古城公園



補正予算・条例など

80議案を可決・認定・承認

個別・総括質問に14人が登壇

12月定例会は3日に開会し、16日に閉会しました。初日には、継続審査となっていた平成25年度決算などの3議案を可決・認定しました。

また、市長から平成26年度補正予算をはじめ75議案が、議員から意見書3議案が提出され、うち、77議案を可決・承認しました。

今定例会では、個別・総括質問に14人の議員が登壇し、白熱した議論を展開しました。

可決・認定・承認した 主な議案等

条例

■保育所条例の一部改正

二上保育園と守山保育園を廃止し、万葉なかよし保育園を設置するもの。

■老人福祉センター条例等の一部改正

原油の価格高騰や県内の公衆浴場入浴料金の統制額が改定されたこと等に伴い、市施設の浴室使用料を見直すもの。

一般

400円→420円

60歳以上

100円→200円

小学生

120円→130円

(施行期日)

平成27年4月1日

■国民健康保険条例の一部改正

健康保険法施行令の改正及び産科医療補償制度の見直しに伴い、出産育児一時金を変更するもの。

出産育児一時金

39万円→40万4000円

加算額(産科医療補償制度掛金相当分)

3万円→1万6000円

(施行期日)

平成27年1月1日

■自転車等駐車場条例

新高岡駅に自転車等駐車場を新設するほか、利用期間、駐車料金、自転車等の撤去等



北陸新幹線開業に向け、アクセス機能の強化を

運営に関する規定を加えるもの。

利用期間

1回につき7日以内

駐車料金

無料

その他

自転車の撤去、暫定駐車場の取り扱い

(施行期日)

平成27年3月14日

■駅前広場条例

駅前の通行の安全性の確保及び円滑化を図るため、高岡駅及び新高岡駅の駅前広場におけるバス乗降場及びタクシー待機場の使用について許可制を導入するもの。

(施行期日)

平成27年3月14日

議決結果一覧

継続審査となっていた議案

その他

◇平成25年度水道事業会計未処分利益剰余金の処分

全会一致で可決

認定《平成25年度決算》

◇企業会計

(高岡市民病院事業会計)

全会一致で認定

(水道事業会計)

全会一致で認定

(工業用水道事業会計)

全会一致で認定

(簡易水道事業会計)

全会一致で認定

◇一般会計・特別会計

(一般会計)

賛成多数で認定

(国民健康保険事業会計)

賛成多数で認定

(下水道事業会計)

賛成多数で認定

(荻布奨学金事業会計)

全会一致で認定

(駐車場事業会計)

全会一致で認定

(工業団地造成事業会計)

全会一致で認定

(農業集落排水事業会計)

賛成多数で認定

(介護保険事業会計)

賛成多数で認定

(後期高齢者医療事業会計)

賛成多数で認定

初日提出議案

平成26年度 補正予算

◇一般会計

賛成多数で可決

◇国民健康保険事業会計

全会一致で可決

五位山交流館条例

地域の有する資源を活かし、都市部との交流を促進するとともに、地域住民の生涯学習活動を支援するため五位山交流館を設置し、淵ヶ谷公民館を廃止するもの。

その他

工事請負契約の締結

①(仮称)福岡駅前地域交流センター新築工事

福岡駅を核とした魅力の創出、市民交流促進、まちのにぎわい創出を目指して地域交流センターを新築するもの。

契約金額 3億5111万円

②戸出西部小学校体育館改築及び校舎耐震補強工事

戸出西部小学校体育館の改築及び校舎の耐震補強工事を行うもの。

契約金額 4億5500万円

財産の処分(土地)

市内企業等の移転及び拡張のため、高岡オフィスパーク用地を売却するもの。

①所在 オフィスパーク3番面積 4992㎡

売却価格 4523万円

②所在 オフィスパーク8番1面積 7399㎡

売却価格 6385万円

指定管理者の指定

急患医療センター、集会所33施設、戸出コミュニティセ

ンター、中田会館、福岡ふるさと会館、新高岡駅観光交流センター、市営駐車場12施設、市営住宅19施設、鋳物資料館などの指定管理者導入施設について、指定管理者を指定するもの。

報告

専決処分の報告

平成26年12月14日執行の衆議院議員総選挙及び最高裁判所裁判官国民審査に係る経費の予算補正を専決処分したものの。

人事

農業委員会委員(議会推薦)

青木 紘議員

討論要旨

(平成25年度決算)

○日本共産党《一般会計、国民健康保険事業・下水道事業・農業集落排水事業・介護保険事業・後期高齢者医療事業の各会計……反対》

一般会計では、大型事業の事業費規模を十分に精査して、全体事業費を可能な限り縮減し、市債発行の抑制を求め、また、中小企業や地場産業に対し金融支援の強化を求める。国民健康保険事業では、一般会計からの繰入金を増額し、

国庫補助の回復を国に求める。下水道使用料・介護保険料を財政努力により引き下げ、後期高齢者医療事業では保険料負担の軽減と制度の廃止を求める。

○自民同志会

《全会計……賛成》

高岡新世紀創造プロジェクトに掲げた施策を積極的に進め、環日本海における交通結節点としての都市の強みと、歴史都市としてのまちの魅力を活かし、人・もの・情報が行き交う交流拠点都市の確立に向けて取り組んだことを評価する。一方、本市の財政状況は依然として厳しく、今後は、新たな行財政改革推進方針に基づき、厳正に施策・事業を選択することで、財源を効率的に配分しながら、市民の要望を反映した行財政運営に努めるよう要望する。

○社民党議員団

《全会計……賛成》

厳しい財政運営の中、市税の収納率向上に努力したことや評価するが、新幹線対策事業などの大型事業の実施により歳出は増加していることから、効果的な事業運営に努めてもらいたい。また、高岡新世紀創造プロジェクトに掲げる五つのテーマでの施策・事業を戦略的に取り組んだこと

- ◇ 駐車場事業会計……………全会一致で可決
- ◇ 工業団地造成事業会計……………全会一致で可決
- ◇ 介護保険事業会計……………全会一致で可決
- ◇ 高岡市民病院事業会計……………全会一致で可決
- ◇ 水道事業会計……………全会一致で可決
- ◇ 工業用水道事業会計……………全会一致で可決
- ◇ 簡易水道事業会計……………全会一致で可決
- ◇ 下水道事業会計……………全会一致で可決

条例

- ◇ 職員の給与に関する条例等の一部改正……………全会一致で可決
- ◇ 保育所条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇ きずな子ども発達支援センター条例の一部改正……………全会一致で可決

- ◇ 老人福祉センター条例等の一部改正……………賛成多数で可決
- ◇ 国民健康保険条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇ 自転車等駐車場条例……………全会一致で可決
- ◇ 駅前広場条例……………全会一致で可決
- ◇ 道路占用料条例の一部改正……………全会一致で可決
- ◇ 五位山交流館条例……………全会一致で可決
- ◇ 消防団員等公務災害補償条例の一部改正……………全会一致で可決

その他

- ◇ 工事請負契約の締結(仮称)福岡駅前地域交流センター新築工事……………全会一致で可決
- ◇ 工事請負契約の締結(戸出西部小学校体育館改築及び校舎耐震補強工事)……………全会一致で可決
- ◇ 財産の処分(土地)……………全会一致で可決
- ◇ 指定管理者の指定(50件)……………全会一致で可決
- ◇ 市道路線の認定及び廃止……………全会一致で可決

に一定の評価をしたい。引き続き、市民生活最優先の市政の運営と人口減少対策の強化を要望する。

○市政高岡

《全会計：賛成》

新幹線開業以降の未来高岡に向けて、事業を着実に実施したことや福祉・医療の充実、安心・安全なまちづくり、多様化する行政サービスの維持・充実に努めたこと、また、防災対策の充実に取り組んだことを評価したい。今後も、一層の行財政改革を進め、最少の経費で最大の効果を上げるよう努力し、市民生活の安心・安全、セーフティネットの充実のための施策・事業を進めていくことを要望する。

○公明党

《全会計：賛成》

新幹線関連の大型事業により市債残高が増加している中で、行財政改革の推進や事務事業の見直しに取り組み、また、市税の収納強化対策に努めたこと、さらに、浸水対策などの防災への取り組みや地域包括ケアシステムの構築に努めたことを評価したい。今後も税収の減収が予想されるが、引き続き、行財政運営の健全化と市民生活の向上につながる様々な施策・事業に取り組まれることを要望する。

意見書（要旨）

次の意見書を可決し、衆参両院議長、内閣総理大臣、関係大臣等に提出しました。

■国の責任による35人学級の推進を求める意見書

平成23年に改正された義務標準法を踏まえ、現在、全国で小学校1、2年生の35人以下学級が実施されている。35人学級は、学習意欲向上等の効果があり、教員・保護者からも35人学級実施学年の拡充を求める声も多い。また、近年、いじめや不登校への対応など、教員の職務は複雑困難化し、担う責務も増大している。このような状況を改善し、教員が一人ひとりの子どもと向き合い、行き届いた授業、きめ細かな対応を可能にすることが求められており、教職員の計画的な定数改善が必要である。しかし、財務省は財政制度等審議会において、いじめ認知件数が増加しているなどの理由から、公立小学校1年生の学級編成の標準の40人への引き上げ等が提案された。これは、教育の充実に背を向ける方針であり、容認できない。少人数学級を後退させることなく、計画的な教職員定数の改善を推進するよう強く要望する。

■山村振興法の延長と施策の拡充を求める意見書

昭和40年に制定された山村振興法に基づき、山村への政策支援が行われてきたが、山村地域は、依然として厳しい環境が続いていることから、次の事項について誠実に対応するよう強く要望する。

一 平成27年3月末に期限を迎える山村振興法の延長及び内容の拡充を図ること。

延長に当たっては、都市と山村の格差の是正対策に加え、山村地域が果たす多面的機能の発揮に係る国の責務を明確にすること。また、山村振興の目標に、林業・木材産業の振興による地域資源を活用した地域林業の確立、就業機会の増大と定住の促進を盛り込み、達成に必要な施策を講ずること。

二 森林・林業基本計画に基づく森林・林業の再生と整備、森林の多面的機能の持続的発揮に向けた、地球温暖化対策のための税の使途に森林吸収源対策を追加するなど安定的な財源確保に努めること。また、森林情報の収集や境界確認、合意形成、路網整備、不在村者対策をはじめとする集約化施策の促進に対するさらなる支援を図ること。

報告

◇専決処分（平成26年度一般会計補正予算）

全会一致で承認

■最終日追加提出議案

議員提出議案（意見書）

◇国の責任による35人学級の推進を求める意見書

全会一致で可決

◇原発再稼働の中止を求める意見書

賛成少数で否決

◇山村振興法の延長と施策の拡充を求める意見書

全会一致で可決

陳情

◇高岡地区広域圏事務組合のごみ焼却施設建設に使われた復興資金の返還を求める陳情（返さんまいけ実行委員会 代表 川渕映子）

全会一致で不採択

◇ごみ焼却施設の新設に復興資金が使われたことに対する道義的な取組みとして復興支援基金の立上げを求める陳情（宮崎さゆり）

賛成少数で不採択



議会の新しい構成決まる

12月定例会初日の3日に、議長・副議長の辞職に伴う選挙を行いました。

また、常任委員会委員の所属変更、議会運営委員会・特別委員会等の委員を選任し、議会諸役員を改選しました。

議長に 酒井 立志氏
副議長に 狩野 安郎氏



酒井議長

狩野副議長

新議長、抱負を語る

「議会と行政当局が切磋琢磨し、それぞれの特性を活かして、市民の多岐にわたるニーズを的確に捉え、負託に応えたい。」

いよいよ北陸新幹線が開業する今、市民17万人と心をつなげて、高岡市の新たな時代の扉を開きたい。また、北陸新幹線速達タイプかがやきの新高岡駅停車に向けた取り組みを通して一体感が強くなった県西部6市が、さらなる広域連携

を図りながら、これまで以上にそれぞれ魅力を発揮することで、高岡を玄関口とする飛越能地域のすばらしさを国内外に発信したい。」と就任に当たり、酒井議長が抱負を語りました。

酒井議長 副議長、議会運営委員長、経済消防常任委員長、決算特別委員長

などを歴任

狩野副議長 総務文教、民生病院、経済消防の各常任委員長、水道病院決算

特別委員長などを歴任

変更のあった委員会

<p>建設水道常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎永森 茂 ○本田 利麻 吉田健太郎 盤若 進二 高島 義一 大井 正樹 荒木 泰行 	<p>経済消防常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎中山 欣一 ○藪中 一夫 石須 大雄 中川加津代 曾田 康司 狩野 安郎 島 起也 	<p>民生病院常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎樋詰 和子 ○福井 直樹 横田 誠二 野上 達夫 酒井 立志 水口 清志 山沼 茂敏 	<p>総務文教常任委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎金森 一郎 ○坂林 永喜 上田 武 四十九清治 川島 国 金平 直巳 青木 紘 舘 勇将 	<p>議会運営委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎曾田 康司 ○水口 清志 石須 大雄 横田 誠二 本田 利麻 金森 一郎 四十九清治 高島 義一 樋詰 和子 荒木 泰行 <p>◎委員長 ○副委員長</p> <p>※委員長・副委員長以外は議席順。</p>
<p>広報広聴委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎水口 清志 ○中川加津代 吉田健太郎 中山 欣一 本田 利麻 福井 直樹 金森 一郎 上田 武 盤若 進二 金平 直巳 	<p>歴史文化・広域観光対策特別委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎青木 紘 ○樋詰 和子 藪中 一夫 坂林 永喜 野上 達夫 本田 利麻 盤若 進二 高島 義一 山沼 茂敏 	<p>新幹線・公共交通対策特別委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎大井 正樹 ○曾田 康司 横田 誠二 上田 武 四十九清治 川島 国 水口 清志 金平 直巳 舘 勇将 	<p>港湾対策特別委員会</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎荒木 泰行 ○石須 大雄 中川加津代 吉田健太郎 中山 欣一 福井 直樹 永森 茂 金森 一郎 島 起也 	<p>◎委員長 ○副委員長</p> <p>※委員長・副委員長以外は議席順。</p> <div style="border: 1px dashed green; padding: 5px;"> <p>会派名称の変更</p> <p>(変更前) 友進会</p> <p>(変更後) 自民友進会</p> <p>(平成26年12月5日現在)</p> </div>

個別質問

今定例会では、10人が市政全般にわたり質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



川島 国
自民同志会

県に求めることは

問 これまで力を入れてきた諸課題と市が県に求めることについて問う。

(1)地域の協働モデル事業として推奨してきた寺子屋サロン事業は、子どもを地域で愛で育む新しい取り組みである。学童保育事業の受け入れ児童拡大等の課題解決に向け、寺子屋サロンを高岡型地域共有モデル事業として市内全域に早期に推進すべきでは。

(2)これまで藤子・F・不二雄先生の世界観をふるさと高岡から世界に発信する取り組みを求めてきた。新高岡駅の利用促進のためにも、世界のドラえもんを活用すべきと考えるが、見解は。

(3)これまで本市発展のため、教育・子育てや観光、鳥獣対策等の行政課題について提案してきたが、少子高齢化時代を迎えた本市において、地方

創生に向けた主体的かつ積極的な取り組みが必要であるが、市が県に求めることは何か。

福祉保健部長 (1)福岡地域での寺子屋サロン事業は先駆的な事業であると認識している。市全域でも地域における子育ての支え合いを広く推進する必要がある、地域住民やボランティア等が多様な形で自主的に取り組む子育て活動を支援していきたい。

経営企画部長 (2)藤子先生の世界観を多くの人に感じてもらうような事業に取り組みしており、ドラえもんは、市民をはじめ多くの人に親しまれている。今後も藤子プロや関係者等との関係を大切に、高岡ならではの新たな魅力を加え、先生の世界観を拡げる関連事業に取り組みたい。

市長 (3)県には、市町村の主体性・独自性を尊重し、取り組みを支援する施策や、広域的な施策を積極的に進めてほしい。加えて、地方創生推進のため、広域的な立場から支援施策の展開をお願いしたい。また、県施設の特性に相応しい地域への立地や地域重視の

施設運営についても配慮を求めたい。



本田 利麻
自民同志会

企業誘致の促進

問 高岡オフィスパークや日市工業団地、大滝工業団地への入居促進に向けた、さらなる企業誘致の取り組みは。

市長 高岡オフィスパークでは2区画の分譲、大滝工業団地では進出企業の操業開始、また、各工業団地でも複数の企業から照会や提案があり、企業誘致の効果が現れてきた。今後も、優れた立地環境や充実した企業立地助成制度に加え、住みやすさや生活環境をPRし、企業立地の促進に取り組むたい。

満足される施設を

問 急患医療センターでは、毎年5月の連休後に、患者満足度調査が実施されているが、改築後初となる平成26年度の調査の内容と結果は。

福祉保健部長 調査結果では、施設・設備の項目以外に、言葉遣い・態度や説明の分かりやすさ、待ち時間などの項目で満足度が大きく改善している。特に待合スペースの雰囲気や診療までの待ち時間の満足度が高く、総合的な評価でも25年度を上回っており、利用者の評価は高いと考えている。

高岡の歴史文化の発信施設

問 新幹線開業後の観光の重要施設となる高岡御車山会館の概要は。また、どのような周期・型で展示されるのか。

産業振興部長 高岡御車山会館は展示棟、土蔵棟及びガイ



高岡の誇る伝統技術を全国へ発信

ダンス棟で構成されている。展示棟では、吹き抜け空間のガラスケース内に御車山7基のうち1基を4カ月周期で入れ替え展示し、制作中の平成の御車山も完成した部分から展示し、その周囲では金工や漆工等の技法を紹介する。2階には体験コーナーや御車山祭当日の雰囲気を感じられるシアターを設ける。土蔵棟では、山町文化や佐渡家資料を紹介する。ガイダンス棟は、観光情報の提供機能を有し、まち歩きを楽しむ際の休憩所としても利用できる。



福井 直樹
自民同志会

かがやき停車に向けて

問 呉西6市の市民の協力を得て展開している北陸新幹線速達タイプかがやきの新高岡駅の停車に向けた署名活動における署名数の状況と、今後の活用方針は。

都市整備部長 署名活動を県西部地域の自治体及び連合自治会の協力を得て実施したところにより、平成26年11月末までに、県西部地域の人口約45万人のうち約19万人の署名が集まった。近日中に署名を

JR及び国に提出したい。

地方創生のために

図 地方創生の理念等を定めたまち・ひと・しごと創生法に盛り込まれた地方人口ビジョンや地方版総合戦略は、本市においても将来的に策定されると思うが、見解は。また、現在検討を進めている人口減少対策の議論に与える影響は。

市長 国では、地方の総合戦略等の策定を促し、地方の取り組みを支援するため、地域経済分析システムの公開や財政支援などが検討されている。本市としては、自律的かつ自主的な施策を進め、現在進めている人口減少対策本部の議論の中で、国の総合戦略等で示される施策等も取り込み、高岡版総合戦略の策定に向けた検討を進めたい。

コメの品質向上への対策は

図 平成26年度の県産米一等比率は北陸農政局管内の4県でトップであったが、本市における一等比率の状況及び課題並びに対策は。

産業振興部長 本市のうるち米の一等比率は、26年10月末現在で82・3%と、県の87%と比較して4・7ポイント下回っている。うるち米の品質低下の主要因は、乳白米や未熟

米が多く見受けられたことやカメムシによる斑点米の被害である。今後は、田植えの繰り下げや珪酸質資材散布による土壌づくりや肥料の散布。また、適正な追肥や水管理、カメムシの適期防除を徹底するよう啓発していきたい。



横田 誠二
自民同志会

トイレの洋式化の推進を

図 公共施設内のトイレの洋式化の進捗状況は。また、高齢化の進展に対応するため、洋式化を積極的に推進すべきと考えるが、見解は。

福祉保健部長 市が管理する施設のトイレは2879基で、そのうち洋式トイレは1475基あり、普及率は51%である。本市では、高齢者等がトイレを安全で快適に利用できるための整備基準を定めており、新設の市施設では洋式トイレを基本に整備している。既存の市施設に対しては施設管理者等に対し、洋式トイレの整備を働き掛けたい。

都市管理コストの抑制を

図 都市管理コスト削減のため

に向けた取り組みを問う。
(1)市の中心部や公共交通沿線への居住誘導により、人口拡散を抑制することが都市管理コストの抑制において肝要と考えるが、今後のまちづくりの基本的な考え方は。

(2)まちづくりを感覚的に進めるのではなく、定量的に必要な分析・検証を行うための体制づくりとして、住民基本台帳データの位置情報への変換を行うべきだが、見解は。

市長 (1)総合計画第2次基本計画では、人口減少社会の進展を見据え、適切な機能分担による都市機能の集約配置や市内各地域の核を交通の軸で結合した多極ネットワーク型の都市づくりを目指している。都市管理コストの抑制の観点からも有用であり、今後とも交通ネットワークの充実などを一体的に取り組み、本市が目指す多極ネットワーク型のまちづくりを推進したい。

都市整備部長 (2)本市では都市計画基礎調査に基づき、土地利用等のデータを地理情報システムに取り込み、分析・評価している。住民基本台帳データの位置情報への変換は、既存システムの改修が必要となるため、他市の取り組み状況等を調査したうえで、実用化について検討したい。



中川 加津代
自民同志会

産み育てやすい環境を

図 子育てには、ライフステージに応じた支援が必要であるが、平成26年度に策定される子ども・子育て支援事業計画の柱と方向性、27年度の事業展開は。

福祉保健部長 策定中の計画は、本市が子育て満足度日本一を目指し、安心して子どもを産み育てやすい環境をつくるための新たな一歩を踏み出す計画であり、安心して妊娠・出産・育児ができる体制の充実など四つの重点プロジェクトを設定している。27年度は子ども・子育てに関する相談や支援体制の充実など四つの事業展開を考えている。

観光資源に磨きを

図 本市の観光名所の掘り起こしとして、雨晴海岸から二上山万葉ラインにかけてのルートを整備し、眺望やキャンプ、ハイキング等を楽しむ観光スポットとして再構築してはどうかと考えるが、見解は。

産業振興部長 観光スポットの再構築については、平和の



新たな観光スポットの構築を 二上山展望台

鐘をものづくりの象徴としての活用、夜景スポットとしての打ち出し、雨晴海岸から二上山へと続くルートを用いたネイチャーリズムなど、地元などの意見を踏まえ、魅力を紹介し、新たな観光スポットとして検討していきたい。

外国人観光客の誘客を

図 外国人観光客の誘客に地域間競争が激化する中、トップセールスによる台湾での高岡観光PRの後、どのような具体的な取り組みがなされるのか。どのような成果があったか。

産業振興部長 平成26年8月の台湾訪問後、旅行専門誌で本市が紹介されたほか、ドラ

えもんトラムの人気の高さ等が評価され、今後の積極的な送客の約束を得た。しかし、寺社には興味は示さず、課題となった。現在、本市への送客意欲を実績に結び付けるため、冬期間を対象に本市独自の助成制度を新設し、台湾旅行社に働き掛けている。



高島 義一
自民同志会

新幹線開業後のまちづくり

■ ポスト新幹線を見据えた施策について問う。

- (1) 高岡駅前東地区において、(仮称) 富山県高岡看護専門学校の入居が予定されている複合ビル建設の現在の進捗状況と今後のスケジュールは。
 - (2) 駅前ビル跡地とJR水見線跡地の等価交換の契約に向けて協議が進められていると思うが、交換後の駅前ビル跡地利用の考え方は。
 - (3) 福岡庁舎にある建設部を本庁舎に移転し、まちづくり部門の連携の強化や簡素で効率的な組織体制の確立に向けて、都市整備部と統合しては。
- 都市整備部長** (1) 複合ビルの建設のため、平成26年4月から高岡駅前東地区拠点施設基

本計画の策定に取り組んでおり、策定後は、市・商業ビル地権者・(仮称)富山県高岡看護専門学校開設準備委員会の三者で協議会を設立する予定である。協議会では、26年度末までに公募の手続きを経て施行者を決定する予定である。27年度は調査・設計・権利変換などを行い、28年度内の完成を目指している。

(2) 駅前ビル跡地については、高岡駅前東地区整備基本構想に基づき、バスターミナル機能の強化や、人々が集い、にぎわえるオープンスペースとして整備したい。また、関係地権者の意見等を聞きながら、民間による商業・飲食等施設の誘導を図り、にぎわい創出につなげたい。整備に着手するまでは、イベント時のスペース等に活用したい。

市長 (3) 都市整備部と建設部の統合は、新幹線開業後の本市のまちづくりをハードとソフトの両面から一体的に取り組むためにも、欠かせない見直しであると考えており、議会での議論や各方面からの意見も聞きながら取り組みたい。また、統合は福岡庁舎のあり方にも関わる課題のため、福岡行政センターの機能や福岡庁舎の利活用についても、早期に関係方面の意見を聞きな

がら、総合的に進めたい。



上田 武
社民党議員団

内容を精査した予算編成を

■ 平成27年度予算編成に当たり、市単独補助金を一律1割削減すると仄聞している。補助金の見直しに当たっては、事業内容を一つ一つ精査してはと考えるが、見解は。

経営企画部長 財政健全化方針に基づき、事務事業の徹底した見直しに取り組んでおり、その一環として市単独補助金の見直しを実施するものである。団体運営補助金等においては、補助事業者の効率的な事業実施や自律的な団体運営の促進等を期待している。捻出した財源は、未来高岡の実現のために新たな事業に振り向け、地域活力を創出したい。

対象児童拡大への対応

■ 学童保育の対象児童を平成27年4月より、小学校3年生から6年生までに拡大するが、実施への進捗状況は。

福祉保健部長 国の放課後子ども総合プランでは、新たにクラブを整備する場合は、学校施設を徹底的に活用するこ

ととし、小学校外で実施している場合も、ニーズに同じ小学校の余裕教室等を活用することが望ましいとしている。現在、各クラブの新制度への対応が円滑に行えるよう、余裕教室の調査等、受け入れ態勢の整備を計画的に行うため、教育委員会等と協議している。

35人学級の継続を

■ 入学後の小学校1年生が、環境変化にスムーズに適應できるようにするために、35人学級が導入されて4年近く経つが、その効果は。

教育長 学校現場からは、学力の定着につながる、基本的な生活習慣の定着を図ることができ、児童一人ひとりの活躍の機会が増えるなどの教



きめ細やかな教育が行き届く35人学級

育効果があると聞いている。また、児童からは、勉強が分かり学校が楽しい、発表の機会が増えるという感想が聞かれ、保護者からはきめ細やかな指導を受けられて良いという声がかかれ、一定の成果が上がっていると認識している。



数中 一夫
自民同志会

看護学校の将来的な課題

■ (仮称)富山県高岡看護専門学校整備については、4年制や大学看護学科への移行など様々な課題が将来発生することも予想される。これを踏まえた整備や取り組みが必要と考えるが、見解は。

福祉保健部長 4年制への移行や大学化への変更は、多くの課題があると聞いている。今回は、3年課程の専門学校として開設することとしており、開校に全力で取り組みたいと考えている。4年制の看護学科等の設置は、県が実施している大学卒の看護師需要調査の結果を踏まえ、今後の検討課題としたい。

ハザードマップの一体化

■ 本市には、複数のハザー

ドマップがあるが、全て単体のマップのため、分かりにくいとの意見がある。複数のハザードマップを一体型の冊子にしてはと考えるが、見解は。

総務部長 複数のハザードマップを一体型の冊子とすることは重要であると考えており、平成26年7月に、各種ハザードマップを含めた総合的な防災情報と暮らしに役立つ情報を掲載した防災マップ&市民便利帳を作成することとした。現在、作成作業を進めており、27年度早々に市内全戸に配布したいと考えている。

高山右近ゆかりの地と連携

副 高岡城の縄張りをしたとされる高山右近が、平成27年にもローマ法王庁から聖人に次ぐ崇敬の対象である福者に認定されるとの期待が広がっている。本市としても、福者認定を見据えて、今から、高山右近ゆかりの各市との連携イベントを計画しては。

市長 高槻市など高山右近ゆかりの地では、平成27年に高山右近没後400年の記念事業を行うと聞いており、本市としてもその記念事業に積極的に参加して、情報共有や交流を行い、高山右近ゆかりの自治体とのネットワークづくりを行っていききたい。



坂林 永喜
自民同志会

災害への十分な備えを

副 安全・安心のまちづくりについて問う。

(1)災害時の危機管理体制として市民の安全・安心を担保するため、緊急避難場所と避難初期に必要なとなる物資は十分に確保しているのか。

(2)避難施設に指定されている民間施設の備蓄物資の種類とその保管場所は。また、市指定避難施設の備蓄物資と共有は図られているか。

(3)消防団員の確保対策として、消防団協力事業所制度が導入されているが、認定状況と認知度は。また、優遇措置の内容と効果は。

総務部長 (1)指定緊急避難場所、立地条件や構造条件などを勘案し、災害ごとに確保している。災害備蓄計画では、県や市による公的備蓄は市内での避難所への避難者のうち、建物が全壊し非常食等の個人備蓄を自宅から持ち出せない人の分が対象であり、計画に基づき備蓄を進めている。

(2)備蓄物資の種類は、食料や生活必需品、その他カセット

コンロなど避難所で必要となる様々な物資を備蓄している。備蓄場所は各小学校に分散し、人口規模に応じた備蓄量を計画している。民間施設も含めた小学校以外の避難所では、必要に応じ最寄りの小学校から備蓄物資を供給することとしている。本市の備蓄が不足する場合には、災害時相互応援協定都市等との協定を活用し、応援要請を行うこととしている。

消防長 (3)現在市内で30事業所が協力事業所に登録している。また、制度についての問い合わせも数多くあることから、相応の認知度があるものと推察している。優遇措置については、平成25年1月から市内に主たる営業所を有する建設工事業者に対して、入札参加資格審査における主観点数の加点制度を導入している。効果としては、認定事業所で働く消防団員が活動しやすい職場環境に改善されることなどが挙げられる。



樋詰 和子
公明党

歴史都市高岡を発信

副 新幹線開業効果を發揮し



歴史資産を活かした観光戦略を 高岡城跡

て、歴史都市高岡が持つ歴史資産を活かす観光戦略として、前田家関連の歴史資産をパッケージとして発信しては。

市長 前田家関係の文化資産は、高岡の歴史資源の中核をなすものであり、一つのまとまりとして構成し主題の再構築をするため、歴史都市高岡としてのストーリーづくりをすることや、世界的に評価されるような価値付けをすることは、大変重要であると考えている。今後、世界文化遺産を目指した主題設定や資産構成の再構築に取り組み、歴史都市高岡の魅力を一層高め、全国に発信していききたい。

健全な子どもの育成

副 いじめ・不登校を未然に

防止するためには、早期発見・早期対応が重要と考える。子どもたちへのいじめに関する指導の強化が必要だと考えるが、見解は。

教育委員長 いじめ・不登校の未然防止のためには、子どもたちが自己の役割を果たし、その喜びを味わうなど自尊感情を高めること、共感的な人間関係を育むこと、自ら考え判断し、責任を持って行動できる能力を身につけることが大切であると考えている。今後とも、学校や家庭、地域が一層協力し、学校での授業や地域での行事、家庭生活などを通じて、豊かな心を持ち、たくましく生きる子どもたちの育成に努めていきたい。

市庁舎のリニューアルを

副 市役所ロビーなどをリニューアルして、市民にとって使いやすい市庁舎の整備と快適なトイレの拡充を図っては。

総務部長 市庁舎は市民からの要望を踏まえ、各階トイレの一部洋式化などを図り、利便性向上に努めてきた。一方、市庁舎は建設から相当の年月が経過しており、時代に合わない部分もあることから、耐震化も勘案しながら、市民目線に立った快適な庁舎となるよう検討していききたい。

総括質問

今定例会では、4人が市政全般にわたり、一問一答方式で質問しました。本会議での質問順に、主な質問と答弁の要旨をお知らせします。



中山 欣一
市政高岡

未来高岡の創造に向けて

問 本市は未来高岡への布石となる施策・事業を戦略的に展開するとしているが、平成27年度予算編成において、新幹線開業後の未来高岡の創造のため、未来への投資とは何か。

市長 一つには新たな子ども・子育て支援制度への対応や人口減少対策、地方創生の取り組みを通し、未来高岡の主役を担う人を育てること、二つには戦略的道路等の都市機能を強化すること、三つには文化創造の取り組みにより、まちの魅力を高めることをテーマに27年度予算編成を進めている。

問 今後の健全な財政運営を維持するため、市債発行における負担の世代間の公平性についての認識は。

経営企画部長 市債は公共施設の建設などに一時的に多額

の財政負担を伴うことなどから世代間で公平性を保ち、財政負担の平準化を図るという観点で発行が認められている。しかし、その返済が将来世代にとって大きな負担とならないよう、市債発行には、実施事業の必要性を精査し、抑制する必要があると考えている。

人口減少時代での施策は

問 人口減少が続く本市の現状では、行政運営への影響など多くの問題が起こり得ると考えるが、その見解と、将来の高岡市像をどのように描き、創っていくのか。

市長 本市では人口減少が続く中、現状では地縁による互助の仕組みと本市の強みである都市機能と相まって自立した経済・生活圏として機能している。将来的にも自立した地域の維持のためには、人を呼び込む人口減少対策と都市型サービス機能の都心エリアへの集約配置や周辺市街地との役割分担、さらには、これらを公共交通でつないだ多極ネットワーク型の都市を構築する必要があると考えている。



盤若 進二
自民友進会

新幹線開業を間近に

問 狭隘な京田踏切が直近にあることで飛越能の玄関口である新高岡駅の拠点性が損なわれると考えている。京田踏切は、4車線の地下式立体交差とすることが都市計画決定しているが、おもてなしの観点から暫定的な形でも平面4車線化を早期に着手しては。

市長 京田踏切は立体交差事業に着手するまで、現在の2車線とすることでJRと協議を終えている。本市としては、地下式立体交差の事業化に向けた検討を進めており、今後は、工法等の内容をさらに詳細に検討することとしている。

問 新幹線開業後間もなく開館する高岡御車山会館の情報発信し、周知していく必要があるが、情報発信とキャンペーンについての見解は。

市長 高岡御車山会館は、新幹線開業と合わせ、集中的に



観光の重要施設として整備が進む高岡御車山会館

御車山祭や山町筋・金屋町の歴史スポット等と一体的に情報を発信したい。各メディアへの情報提供のほか、チラシやホームページなど様々な手法を用い周知を図ることとしている。創意工夫を凝らし会館を利用してもらえるよう効果的なPRに努めたい。

健康都市宣言を

問 本市でも、健康都市宣言を行い、市民一人ひとりが心身ともに健康で輝いて暮らすことができるように生涯にわたって健康づくりを進めることが必要と考えるが、見解は。

市長 本市では、平成25年度から健康たかおか輝きプランに基づき、総合的な健康づくりの取り組みを進めている。本市の取り組み状況を見ると、



曾田 康司
自民同志会

全庁的な子育て支援を

健康づくり活動への参加者数や大腸がん検診の受診者数などは順調に推移しており、当面は健康寿命の延伸に力を注ぎたいと考えている。健康都市宣言については、今後の研究課題としたい。

問 看護師の働きやすい環境づくりとして、市民病院に院内保育所を設置し、24時間保育などの子育て支援施策を推進すべきと考えるが、見解は。

市民病院事務局長 院内保育所の設置は、保育を必要とする子どもを持つ医師や看護師等にとって、夜間や休日の勤務形態などに対応できることから、医療従事者の採用や定着につながるかと考えている。今後、保育所の特別保育の実施状況等を勘案しながら、設置場所や病院収支への影響等について、検討していきたい。

問 子育て世代において子育て支援策は都市間競争の選択肢にもなっていることから、独自の子育て支援施策の実施など本市の特徴を出すことが必要であるが、見解は。

9月定例会後～12月定例会前

- 9月25日 広報広聴委員会
- 29日～30日 歴史文化・広域観光対策特別委員会行政視察
- 10月1日 代表者会議
- 6日 広報広聴委員会
- 15日 建設水道常任委員会
- 20日 経済消防常任委員会
民生病院常任委員会
- 22日 総務文教常任委員会
- 27日～29日 議会運営委員会行政視察
- 11月7日 水道病院決算特別委員会
決算特別委員会
- 10日 決算特別委員会
水道病院決算特別委員会
- 11日 決算特別委員会
水道病院決算特別委員会及び現地視察
- 13日 決算特別委員会現地視察
- 17日 水道病院決算特別委員会
決算特別委員会
- 18日 民生病院常任委員会
- 19日 総務文教常任委員会
経済消防常任委員会
- 20日 代表者会議
建設水道常任委員会
- 25日 議会運営委員会
代表者会議
- 27日 正副常任委員長会議
- 12月2日 代表者会議
議会運営委員会

12月定例会

- 12月3日 議員協議会
本会議(提案理由説明)
議案説明会
議会運営委員会
民生病院常任委員会
経済消防常任委員会
建設水道常任委員会
総務文教常任委員会
港湾対策特別委員会
新幹線・公共交通対策特別委員会
歴史文化・観光対策特別委員会
- 5日 本会議(個別質問)
- 8日 本会議(個別質問)
- 9日 議会運営委員会
- 10日 本会議(総括質問)
民生病院常任委員会
民生病院常任委員会
経済消防常任委員会
- 12日 議会運営委員会
建設水道常任委員会
総務文教常任委員会
- 16日 委員長会議
議会運営委員会
議員協議会
本会議(議案など議決)



子どもたちでにぎわう魅力ある高岡の創造を B1キッズ

福祉保健部長 策定中の子ども・子育て支援事業計画では、本市独自施策として産後の母子に専門的なケアを行い、育児不安の解消や児童虐待の予防を目指す県内初の産後ケア事業を検討している。また、

休日の一時預かり保育や子育て広場等も検討しており、これらの取り組みを積極的に展開し、高岡ならではの子育て支援を実現し、子育て満足度日本一のまちを目指したい。

副 少子化対策・子育て支援策に全庁的に取り組み、最大限の効果を発揮し、魅力ある高岡を創るべきだが、決意は。

市長 市民のライフステージを通じて切れ目のない高岡型子育て環境を構築することが必要と考え、子ども・子育て支援事業計画に人口減少対策本部の全庁的な議論も反映させ、新たな段階に移行する子育て支援施策に全力で取り組みたい。少子化対策・子育て支援をはじめ、まち・ひと・しごとをテーマとした各分野



金平 直巳
日本共産党

の施策展開を通じて都市の総合力を高め、魅力ある高岡を創っていきたい。

農業者への支援強化

副 暴落している米価への緊急対策を行うために、農業を国の基幹産業に位置付け、農業者が安心して農業を続けられるように価格保障や所得補償を抜本的に強化しようという国に要請をすべきと考えるが、見解は。

市長 国では、米価が下落した場合、担い手などを対象に補てん制度を運用している。

認知症支援の拠点設置を

加えて、平成26年度は、担い手以外の農業者に対しても対応することとしている。本市としては、農業者が安心して農業経営を展開できるように、機会を捉えて国に働き掛けていきたい。

副 認知症高齢者が増加している中、認知症疾患医療センターの設置は重要である。設置に向けた取り組みの現状と今後の決意は。

市長 認知症疾患医療センターの設置は、認知症高齢者等を支援するために、地域における医療と介護の中核的な連携拠点としての役割を担うものと考えている。現在、県と協力体制を取り、市内の医療

引き下げの努力を

機関等に対し、設置への取り組みを要請しており、早期にその体制の実現が図られるよう努めていきたい。

副 国民健康保険税の引き下げに向けて、国に対して国庫負担金の増額を求めるほか、一般会計からの繰入金金の増額などの市独自の取り組みも検討すべきと考えるが、見解は。

市長 国民健康保険の財政は、被保険者の負担である国民健康保険税と国、県の負担金等で賄うことが原則であると考えている。今後、国の責任において安定的な財源を確保するために、引き続き全国市長会などを通じて強く要望していきたい。

委員会の動き

3つの特別委員会は、本市の当面の大型プロジェクトや重要課題に対し専門的に調査活動を行っています。今定例会では、これまでの調査概要の中間報告がありました。

○港湾対策特別委員会

◆伏木港を含む伏木富山港は、日本海の港湾をリードする総合的拠点港に位置付けられている。伏木外港は、外航クルーズ等の拠点機能を充実させ、経済発展する対岸諸国と日本海側、太平洋側都市圏との結節点としてさらなる飛躍が望まれている。また、富山湾が世界で最も美しい湾クラブへ加盟し、本市の付加価値がさらに高まっており、交流人口

の拡大を促進する役割も求められる。港湾機能の充実を本市の発展や経済の活性化につなげるため、港湾基盤の整備及び耐震化による拠点港機能の強化に加え、長年の悲願であるC工区の早期整備を国・県へ引き続き要望していく必要がある。

○新幹線・公共交通対策特別委員会

◆北陸新幹線では、JRから開業日を平成27年3月14日とする発表があったが、速達タイプかがやきが新高岡駅に停車しないことも発表され、9月定例会では、新高岡駅へのかがやきの停車に関する決議をした。新高岡駅周辺整備では、観光交流センターや城端線新駅等の整備が進められており、高岡駅周辺整備では、

○歴史文化・広域観光対策特別委員会

◆本市は、平成26年3月に雨晴海岸が国の名勝に、また、11月には高岡城跡が国の史跡に指定され、本市の歴史・文化資産が充実してきている。今後も歴史まちづくり計画に基づき各事業を進め、地域資源を活用し、歴史都市高岡の確立を目指すとともに、国内外に発信していく必要がある。

人工デッキ等の供用が開始された。並行在来線では、あいの風とやま鉄道が開業準備を進めている。万葉線では、通勤定期券利用者が伸びており、乗客数の増加が期待される。また、総合的かつ戦略的な交通施策の推進を図る総合交通戦略が策定され、事業の進捗状況等を注視する必要がある。

3月定例会の予定

3月定例会は、下記のとおり開催される予定です。

なお、日時等は、2月20日開催予定の議会運営委員会で決定されます。

2日(月)	11時	議員協議会
	13時	本会議 (提案理由説明)
4日(水)	13時	本会議 (追加提案理由説明)
5日(木)	10時	本会議 (代表質問)
9日(月)	10時	本会議 (個別質問)
10日(火)	10時	本会議 (個別質問)
11日(水)	10時	議会運営委員会
12日(木)	10時	本会議 (総括質問)
13日(金)	10時	民生病院常任委員会
	10時	経済消防常任委員会
17日(火)	9時	議会運営委員会
	10時	建設水道常任委員会
	10時	総務文教常任委員会
19日(木)	9時30分	委員長会議
	10時	議会運営委員会
	11時	議員協議会
	13時	本会議 (議案など議決)

❖ 詳しい内容については、高岡市議会事務局(☎20-1531)までお問い合わせください。

市議会の傍聴

本会議及び委員会は、どなたでも自由に傍聴できます。

本会議は82名(うち車椅子利用者は5名)まで、委員会は7名まで傍聴できます。

最近の定例会の傍聴者数

定例会	本会議	委員会
26年 3月	95人	4人
26年 6月	39人	1人
26年 9月	38人	4人
26年12月	117人	2人

広域観光では、首都圏域に心の通うPRを進め、26年9月には東京駅周辺に観光キャンペーンを実施するなど官民一体となった効果的なプロモーションを行っている。今後も圏域の特色を活かした各種事



市政を担う新規採用職員 (議会傍聴)

業を進めながら、関係自治体等と連携して情報発信や観光客の誘致、滞在促進等に取り組みなければならない。

編集後記

県西部6市の皆さまとの協力により、JRから北陸新幹線速達タイプかがやきが、臨時列車として新高岡駅に停車することが発表されました。今後は、たくさんの方々には新高岡駅を利用していただけるよう様々な取り組みを進め、地方創生の契機となることを願っております。

また、本市においては、景気回復、人口減少対策も喫緊の課題となっています。今後は、将来的な計画を立案、実行し、問題解決に向けて、より主体的な市政運営が重要になってくると考えます。

市民一人ひとりが、住んでいてよかったと実感できる、住みよいまち高岡の実現のため、市議会が一九となり諸課題に取り組んでまいります。

(中川記)

★編集委員

◎水口、○中川、吉田、中山、本田、福井、金森、上田、盤若、金平

(◎委員長 ○副委員長)